

漁港内の静穏水域を活用した「ヒオウギ貝」試験養殖：串木野漁港（鹿児島県いちき串木野市）

概要

- 鹿児島県漁業協同組合串木野市島平支所では、一本釣り漁業や延縄漁業によるマダイの水揚げが中心で、県内有数のマダイの水揚げ港であったが、漁獲量や水揚金額の減少、また漁業者の高齢化や後継者不足により漁村地域の衰退が懸念されている。
- このような中、新たな漁業経営の確立を目指す方法として「ヒオウギ貝」の試験養殖を令和5年度から実施している。

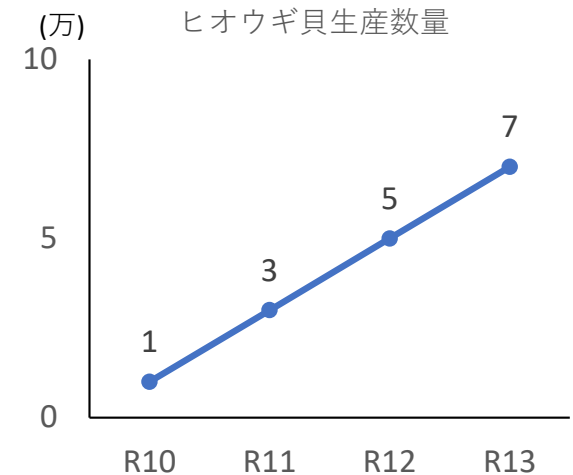


海業の取組概要



- 令和5年11月に稚貝を設置し、令和6年12月に引揚げ作業等を行った。
- 月に1回貝の成長を測定し、引揚げまでに網替え・貝の付着物の除去作業を3回行った。引揚げ時には出荷・販売を想定した貝の付着物の除去のほか、貝の研磨作業を行った。
- 今後様々な課題をクリアしながら、事業展開を目指す。

効果



本格的に事業化に向けて展開する場合
には改めて区画漁業権を取得し（令和10
年度目標）、漁港内の荷捌施設を活用し
た直販や地元飲食店等での販売により、
地元水産物の消費拡大を図り、漁業者の
所得向上や漁村地域の活性化を目指す。

協力体制

鹿児島県漁業協同組合串木野市島平支所
鹿児島県
いちき串木野市

